

もっと速く、繊細に。  
僕の家には印刷機があります。主に親が使  
うけれど、僕も使います。とても便利だと思  
います。テレビと分がよく見る。昔はテレビ  
が車もなかった。と聞きませす。そうなるこ  
現代の機械はとても素晴らしいものがそつ  
ていると思ひます。もちろん印刷機もその仲  
間の一つです。

しかし、僕には欠点があると思ひます。印  
刷ボタンを押してもなかなか出てこないので

もありません。僕はなぜか、その時間がもつた  
いいいと思ひます。だから僕は1秒より速く  
5秒より速く、いや10秒より速い印刷機があ  
ったらいいなと思ひます。でも、速いだけ  
はダメです。その例として計算問題。どん  
にテスト中の計算が速くても、ミスをしてた  
ら何の意味もありません。そこに繊細さを足し  
たら今よりもずっと便利だ印刷機があるばい  
いと思ひました。もしもそれが生産できれば  
会社でとても便利に行きそうです。

高橋 人和

今回僕は、つ木先生の印刷機の作文について  
書きました。正直印刷の事はよく知らないので  
率直な気持ちで書きました。本当に  
単純(?)なことですが書いていけれど、印刷業  
界のみなさんの何かの役に立てればとても光  
栄です。